

光市立岩田小学校で4年生が「森の学校」を実施！

令和6年11月20日（水）、光市立岩田小学校の校庭、家庭科室及び図工室で、4年生児童11名を対象に、竹の伐採及び竹の花器づくり等の「森の学校」を実施しました。

この取組は、次代の担い手となる子供たちに、ふるさとの森林の大切さやそれを支える林業の重要性等の理解を深めてもらうため、「やまぐち森林・林業未来維新カレッジ」研修の一環として、光市林業研究会（会長：森戸芳史、会員21名）が実施したものです。

まず始めに、林研会員による竹の伐採の見学及び玉切りです。伐採前に児童らは、竹の長さを予想しました。予想はバラバラでしたが、ピッタリの児童もいました。

次に、森のお話です。樹木や竹の種類や、その使われ方を学び、葉っぱを触ったり、匂いを嗅いだり、スギの年輪を数えたりしました。児童らは、葉っぱに匂いがあるということに興味津々でした。

最後は、竹の花器づくりです。

児童らは、林研会員からノコギリやナタの安全な使い方を教わった後、ノコギリを使って、先ほど伐採した竹をお好みの長さに切りました。

さらに、竹の枝で取っ手を作り、花器が完成しました。

児童らは、ナタの使い方に苦労していましたが、出来上がった花器を満足そうに眺めていました。



竹の長さは何メートル？



竹の花器完成